

総合診療専門研修プログラム

徹底的な言語化×上下横からの相互フィードバック→チームで進化！！

診療と教育には多くのリソースと時間が必要です。千葉大学総合診療科では、専攻医に「考え、学ぶ時間」を惜しまず提供します。大学での徹底的な言語化、連携施設での地域医療実践、そして研修中の一貫した年次、役職にとらわれない相互フィードバックを組み合わせ、ジェネラルのスペシャリストを目指しましょう！

■ 千葉大プログラムの“ここがポイント”

<優れた総合診療医を継続的に輩出するプログラム>

1. 大学：1人の患者にチームで1日じっくり向き合う
2. 実践→振り返り→再挑戦、手厚いフィードバック
3. bpsモデルで創造的に問題を解決する力を育成
4. 地域医療：千葉大PGの共通言語で大学～連携施設の現場で一貫した総合診療教育を実践
5. 論文アクセス完備、エビデンスに基づいた思考
6. 学会発表、論文・症例報告、万全なサポート体制

<多様なニーズに対応>

1. 性別問わず「育児中」でも柔軟な研修設計
2. 現場発のclinical questionを、大学院から世界へ

■ 専門研修期間 3年

■ 研修連携施設

総合診療Ⅰ
(16施設)

東千葉メディカルセンター、さんむ医療センター、南浜ファミリークリニック、いすみ医療センター、市川市民診療所、千城台クリニック、亀田ファミリークリニック館山、東庄病院、同善病院、水海道さくら病院、塩田病院、鴨川市立国保病院、向日葵クリニック、隠岐島前病院、名瀬徳洲会病院、聖隷淡路病院

総合診療Ⅱ
(8施設)

千葉大学医学部附属病院、千葉市立青葉病院、さんむ医療センター、亀田総合病院、安房地域医療センター、聖マリアンナ医科大学病院、諏訪中央病院、都立多摩北部医療センター

内科
(14施設)

千葉大学医学部附属病院東千葉メディカルセンター、さんむ医療センター、いすみ医療センター、千葉市立青葉病院、亀田総合病院、安房地域医療センター、国保旭中央病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、聖マリアンナ医科大学病院、飯塚病院、国際医療福祉大学成田病院、都立多摩北部医療センター、諏訪中央病院

小児科
(6施設)

千葉市立海浜病院、東千葉メディカルセンター、船橋二和病院、諏訪中央病院、国保旭中央病院、都立多摩北部医療センター

救急科
(8施設)

東千葉メディカルセンター、東京ベイ・浦安市川医療センター、千葉市立青葉病院、セコムディック病院、国際医療福祉大学成田病院、諏訪中央病院、国保旭中央病院、亀田総合病院

■ プログラム責任者 上原 孝紀 (総合診療科)

■ お問い合わせ先 柳田 育孝 (総合診療科)

✉ chiba_u_soshin@mac.com

お気軽にお問い合わせください！



受入れ人数： **5 名**
選考方法： 書類選考、面接



診断推論カンファレンスでは、診断の暗黙知を言語化し、エキスパートの診断プロセスを修得するトレーニングを行います！



千葉大学病院
総合医療教育研修センター



千葉大学病院
見学のお申込み



千葉大学総合診療科
ホームページ



ポートフォリオ勉強会

専門研修に必須である経験省察録の書き方や症例の選択、関連知識などを指導医中心にレクチャーします！専攻医は発表を通してよりよいポートフォリオに洗練していくことができます

症例プリセプティング

卓越した指導医がリアルタイムで丁寧に症例プリセプティングを行い、診断推論やマネジメントスキルを研鑽

専門研修後の進路

大学院, 大学教員, 大学総合診療科教授, 関連病院医長, 臨床留学, 海外勤務, 診療所勤務, 医系技官, 臓器別専門医など



各種セミナー

総合診療で役立つ考え方や身体診察横断的なセミナーを行います！

例：診断推論総論、プライマリ・ケア、症候学、神経診察、整形診察、POCUS、腹部エコー、心エコー、皮膚科合同カンファレンス、研究、etc...

■ ローテーション例

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1年目	千葉大学附属病院総合診療科 (総合診療Ⅱ)			
2年目	さんむ医療センター (総合診療Ⅰ)		千葉市立青葉病院 (内科)	
3年目	東千葉メディカルセンター (総合診療Ⅰ)		東京ベイ・浦安市川医療センター (救急)	千葉市立海浜病院 (小児)

* 最短3年間で取得可能 * 内科ダブルボードや家庭医療連動研修も可能

■ 全国有数の人気研修施設と連携

千葉市立青葉病院



総合内科

千葉市立海浜病院



小児科

東京ベイ・浦安市川医療センター



救急

さんむ医療センター



家庭医療